

ehx

NYC • DSP

CANYON ECHO

取扱説明書

Multi-Function Digital Delay



この度は electro-harmonix Canyon Echo をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
Canyon Echo は最大 3 秒のディレイタイムを備えた非常にコンパクトなデジタルディレイ
ペダルです。3 つ異なるタップ・ディビジョン・オプションを持ったタップテンポ機能と、リピート
のトーンを設定するフィルターコントロール、バイパスへ切り替えた後にリピートが継続する
テイルズモード、そしてフットスイッチでコントロール可能な無限リピート機能を搭載してい
ます。

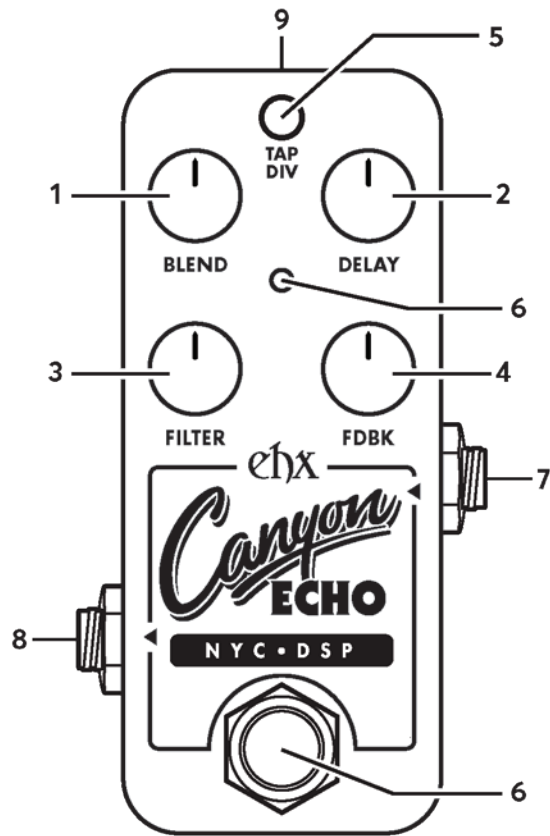
操作方法

付属の 9.6DC-200 アダプター (DC9V センターマイナス極性 200mA) を本体上部の DC ジャック
に接続します。Canyon Echo はアナログ / デジタルを選択可能なバッファード・バイパスを
採用しており、バイパス状態でも電源供給が必要です。楽器を INPUT ジャックに接続し、
OUTPUT ジャックとアンプのインプットジャックを 1/4" モノフォンケーブルで接続してくだ
さい。フットスイッチを押して、ステータス LED が点灯したら準備完了です。

注意

電圧：DC9V 消費電流値：100mA 極性：センターマイナス

このデバイスには Electro-Harmonix 9.6DC-200mA アダプターが付属しています。
間違ったアダプターを使用すると故障の原因となり、保証対象外となりますのでご注意
ください。また、10.5VDC 以上の電源を供給しないようご注意ください。100mA
未満の電流値は、デバイスの動作が不安定になる原因となります。



コントロールと接続

1. BLEND ノブ

INPUT ジャックに入力される信号 (ドライ) とエフェクト信号 (ウェット) のバランスを調整します。

2. DELAY ノブ

8ms から 3s までディレイタイムをコントロールします。

3. FILTER ノブ

ディレイラインにローパスまたはハイパス・フィルターを適応します。ノブを 12 時方向に設定するとフィルターが無効になります。反時計回りに回すとディレイエフェクトにローパス・フィルターが作用してアナログ・ディレイに似たサウンドになります。時計回りに回すとハイパス・フィルターが適応され、テープ・ディレイを彷彿させるエフェクトになります。FILTER をさらに回すとフィルターの効果がさらに強くなります。

4. FDBK ノブ

Canyon Echo が作り出すリピートの数をコントロールします。最小値でリピートは 1 回になり、最大値ではリピートはほぼ無限に続きます。注意: FILTER はディレイの FEEDBACK パスに配置されており、リピートを繰り返すごとにシグナルにフィルターが加わるので過度な FILTER 設定ではリピートの最大値が制限されます。

5. TAP DIV ボタン

タップテンポでディレイタイムを設定する場合、TAP DIV ボタンはタップ・ディバイド (分割) の設定を行います:

Green (緑) - 8 分音符

設定したテンポの半分

Orange (オレンジ) - 付点 8 分音符

設定したテンポの 3/4

Red (赤) - 4 分音符

設定したテンポ

6. フットスイッチ&LED

このスイッチで、本体エフェクトの ON/OFF (バイパス) を切り替えます。LED の色は選択されたタップ・ディビジョンを表示します。タップテンポでディレイタイムを設定した場合、LED は最後に設定されたテンポの速度で点滅します。

7. Input ジャック

楽器を接続する入力端子です。入力インピーダンス 2.2M Ω 、最大入力レベル +1.5dBu

8. Output ジャック

エフェクト信号を出力する端子で、アンプや後段のエフェクター等に接続します。出力インピーダンス 680 Ω 、最大出力レベル +2.1 dBu

9. 9V 電源ジャック

電源アダプターを接続する入力端子です。必ず付属の electro-harmonix 9.6DC-200 AC アダプターを使用して下さい (それ以外の、誤った AC アダプターの使用は故障や事故の原因となります)。消費電流は 100mA で、電源アダプターは 9VDC センターマイナスです (10.5VDC 以上の電源を供給しないようご注意ください)。

タップテンポ

フットスイッチでディレイタイムを設定できます。楽曲のテンポに合わせてフットスイッチを最低 2 回タップすると設定されたテンポに合わせて LED が点滅します。タップテンポを解除するには、DELAY ノブを回してディレイタイムをリセットします。タップテンポを完全に無効にするには以下の手順に従ってください:

1. Canyon Echo の電源を切ります。
2. フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。
3. 2 秒ほどフットスイッチを押したままにすると LED がゆっくり 3 色に 2 回点滅します。
4. フットスイッチを離すとタップテンポが無効になります。
5. タップテンポを再度アクティブにするにはこの手順を繰り返してください。

タップテンポを無効に設定すると、電源の再投入後も記憶されます。

無限リピート

テイルズ・バイパスモードが有効になっている場合、フットスイッチを長押しすることで無限リピートモードがアクティブになります。

1. フットスイッチを長押しします。
2. 500ms を過ぎると LED が 3 色に点滅して、無限リピートがアクティブになります。
3. フットスイッチを離すと解除されるまでリピートが継続します。
4. フットスイッチを 1 度タップすると通常のディレイモードに戻ります。

無限リピートモードがアクティブの間は、新しいシグナルはディレイエフェクトへ入力されません。フィルターはフィードバック・パスから切り離されディレイ出力に配置されるので、通常のディレイモードのようにループ・リピートを劣化させることなくループ・サウンドのトーンを作ることができます。無限リピートモードがアクティブ時に DELAY ノブを回すと、テープデッキのスピードを速めたり遅くしたりするようにループのピッチを変化させることができます。

テイルズとアナログ・バイパスの選択

Canyon Echo は 2 つのバイパスモードを選択することができます：

アナログ

バイパスシグナルは完全にアナログで、ディレイエフェクトはバイパスに切り替わると同時にミュートされます。

テイルズ

バイパスはデジタルで、ディレイエフェクトのリピートはバイパスに切り替わった後自然に減衰します。新しいオーディオシグナルはディレイブロックに入力されません。

初期設定ではテイルズ・バイパスに設定されています。アナログ・バイパスへ変更するには下記の手順に従ってください：

1. TYPE ボタンを長押しします。
2. 2 秒間押し続けると LED が素早く 3 色に点滅するパーティーモードになります。
3. ボタンを離すとアナログ・バイパスがアクティブになります。
4. 再度テイルズ・バイパスに切り替えるには同じ手順を繰り返してください。

バイパスモードの設定は、電源の再投入後も記憶されます。

——— 正規輸入代理店 ———

株式会社 キョーリツコーポレーション

〒468-0002

愛知県名古屋市中白区焼山 1 丁目 813 番地

E-MAIL : support@kyoritsu-group.co.jp